

第 498 回 例 会

24年4月20日

本日のプログラム

- ・ソング 「朧月夜」
- ・卓話 花谷 尚嗣 会員
「東日本大震災に学ぶ
事業継続計画(BCP)の考え方について」
- ・場所 ANAクラウンプラザホテル大阪 5階「ガーデンルーム」
- ・ガバナー補佐訪問 クラブ協議会 13:40～ 4階「桃山の間」

次回(4月27日)のプログラム

- ・ソング 「朧月夜」
- ・卓話 玉置 栄一 会員
「私のお仕事(番外編 PART2)」
- ・場所 ANAクラウンプラザホテル大阪 5階「ガーデンルーム」

先週(4月13日)の例会報告

■会長の時間

皆様こんにちは。桜の花が満開です。あちらこちらお花見を楽しんでいる人々でサクラの名所はにぎわっている事でしょう。先週は朝は大阪府、午後は守口市と交通安全行事に関わりましたが 京都の事故の惨状を報道で知り とても残念に又痛ましく思います。亡くなられた方のお一人に私の園の園児の御親戚がいらっしやって 朝泣いておられました。とぼっちり事故にお気をつけてなどと書きましたが どうにも気をつけようがありませんね。被害を受けられた方の御冥福をいのり 怪我をされた方の1日も早いご回復を願い お見舞い申し上げます。さて9日月曜日は学園の入園式でした。小さなお子様方と正装された保護者の方々をお迎えして とても盛大に挙行いたしました。今年は泣くおさなごの声も2人のみで皆好奇心のかたまりのようで お写真を撮って おまんじゅうをもらって嬉しそうでした。祖父母の御参加も多々あり 記念撮影にニコニコ満面の笑みで素敵でした。去年の3、11を思い出しても この大阪の幸せに感謝すればするほど皆で復興支援をさせていただかなければと思いました。又二男が京都大学大学院医学部博士課程に入学しました。来なくていいよと電話がありました。行きたかったのですが予定が合わずそれを察知した息子の思いやりかもしれません。武者小路実篤の色紙に日々是好日なりとあります。自分の生命があり 周りに楽しい事一つでもあれば それを喜ぶ事こそ大切であり 悲喜こもごもの人生だからこそ味わわなくてはならないと教えられます。いよいよ来週は東北ヘメーキャップへいこうです。お世話して下さい川上さん。よろしくお願い致します。ガバナー補佐の秋山さんはじめ御参加下さる皆様 体調管理して戴いて元気に参りましょう。有り難うございました。

【来客紹介】 0名

【出席報告】

24年4月13日(第497回例会)				
会員総数	出席免除会員	出席会員	欠席会員	出席率
29名	3名	19名	7名	73.08%

【幹事報告】

〔メールBOXに配布〕 1)第10回理事会報告

〔回覧資料〕 1)他クラブより例会変更のお知らせ(大阪イブニングRC)

ニコニコ箱(4月13日)

秋山 千尋 =地区の仕事が益々忙しくなり、他の仕事が出来なくなりました……どうしましょう？

川上 大雄 =東北ヘメイクアップに行こう、よろしくお願ひします。

河田 英子 =ちょっと嬉しいことがありました。今週の月曜日、入園式がありました。毎日元気に登園してくるおさなごたちに エネルギーをもらっています。ぴかぴかの新学期、園長先生大好きといわれて張り切っています。

森本 良嗣 =大川の桜、満開とはこんなもんだあと咲きほこっています。見事です。

鈴木様、忙しい中の卓話、ご準備も大変だったでしょう。今日はがんばって下さい。

鈴木 正明 =桜がきれいです。

高野 幸雄 =先週はお休みさせて頂きました。申し訳ありません。鈴木さん、卓話楽しみにしております。

豊島 秀郎 =桜の季節です。夙川もきれいです。

【SAA報告】

ニコニコ箱	本日計 7000円	今年度合計 2627204円
-------	-----------	----------------

卓話(4月13日)

「神戸安養寺再建について」 鈴木 正明 会員

今日の卓話は、現在進めております寺院建築についてお話しします。

本日、お配りしました資料は本堂の模型写真と平面計画図の3枚です。

模型は昨年に、設計図に基づき宮大工の方に造っていただきました。縮尺は1/10の総檜造りです。

今回の寺院再建については、以前にもお話したかと思いますが、あれから3年が経ちましたが、始まりは平成16年からであります。安養寺は阪神大震災で半壊しまして、現在まで本堂庫裡はプレハブの建物で維持してきましたが、長い道のりでの再建の目処がたちました。

安養寺の歴史をたどると、創建は西暦900年代後半との事であります。天台宗の源信(恵心僧都)の妹 安養尼による建立との事です。一千年の歴史を持つ寺院建築にたずさわることになるとは思ってもよめことではあります。平成16年の段階では近代寺院での再建との事でしたので、それなら私でも少しは、お手伝いできるのではとの安易な思いでありました。

現在のご住職は安養寺を再建するために福井県からこられています。前住職は病に倒れ再建は難しいとの判断で、浄土宗兵庫教区の責任者が指名されたそうです。今は神戸と福井とを行き来し、お忙しい日々を送られておられます。

再建にあたりご住職から提案がありました『みんなが集まれるところを造りたい』宗派にこだわることのない建築様式でかまわない。建物内部は下陣から内陣を見る際、遮る柱は無くしてほしい。下陣の柱間を5間としたい。

且つ、木造の伝統工法石場建てにしたいとのことでありました。

木造で柱間5間は約10m、それも伝統石場建て、私には経験がありませんので鉄骨造ではどうですか 構造用集成材ではどうですかとの問いかけに、いつも答えは『伝統工法で行きましょう、それが一番いいのです』信念のお方です。建物も近代寺院から古建築様式にしましょう『今の時代、古建築に興味を持つ方々が多いのでは』と、ご住職の息子さんの一言で決まりました。

息子さんは定期的にインドのブタガヤにある寺院に行っています。ブタガヤの寺院は、ご住職が建てられた寺院だそうです。そこには安く泊まれる宿舎があり、いろんな国から若者たちが訪れるそうです。そんな中、日本でもみんな集まれる場所になれる寺院本堂でありたいとの思いが、ご住職のこころにあるのでしょうか。

私は古建築物設計の経験がありませんので、お断りすることにしましたが『これも何かのご縁』との事でみんなと『わいわいやれたらいいので、縁がなければ自然と付き合いがなくなるので』との諭しで大役を引き受けることになりました。

引き受けるのはいいのですが、何からやればとの思いで、約1ヶ月間ほど寝付かれず悶々としていましたが、関西は古建築それも国宝が沢山ありますので、毎週日曜日には奈良の寺院巡りから始めました。それと先人に学ぼうと『西岡常一棟梁自伝』から堂塔建築の専門書、国宝寺院の修理工事報告書などを読み、日曜日には実物を見るの繰り返しを続けながら、基本設計を進めました。

基本設計を進めるに当り、柱間5間は変わらずで構造的にどのように処理するか。又、参考になりそうな寺院を見に行きの繰り返しの始まりです。ほんの少ずつではあります。本で読んだものが実物を見て理解が深まりの繰り返しで基本設計に数年かかったように記憶しています。その間も、あちらこちらの寺院巡りをしました。奈良以外では遠くは尾道の浄土寺阿弥陀堂、兵庫県三木市の浄土寺浄土堂などがあります。そのようなことの繰り返しで、実施設計も約80%終わり昨年9月本堂の確認申請書が認可されました。現在は山門の設計をしております。

工事の方は、今月から宮大工さんたちによる化粧垂木の加工が始まりました。材木は天理市の製材所から、直接買い付けをしていただきましたので、少しは安く購入できたのではないかと考えております。落慶は平成26年内に予定しております。来年3月から現地での建て込みを開始いたしますので、興味のある方はご案内いたします。

大阪ユニバーサルシティRC URL: <http://www.osaka-ucrc.org/> E-mai: ucrc@osaka-ucrc.org 創立: 2001年3月27日
事務局 〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-68 リーガロイヤルホテル401号室 TEL: 070-5020-6459
会長: 斎藤清貴 幹事: 三宅一郎 会報担当: 大橋高志 例会: 毎週 月曜日12:30~13:30 リーガロイヤルホテル

4つのテスト / 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか